

新宮山彦ぐるーぷ第2412回

浦向道の点検・整備

◇実施日 2月22日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、濱野兼吉、大江加予子・徳子、生熊千満

子、湯川一郎、阪口雄二、山川自知、須崎由香、梶

野照雄、由井洋三、大前暢広 12名

春の巡視第一回目となる浦向道の点検・整備を行った。浦向道は行仙宿から下北山浦向を結ぶ登山道で、十津川村上葛川から下北山浦向へ至る旧通信道(郵便古道)の一部である。奥駈道と重なっている部分は少ししかないが、歴史的に価値のある古道であることは間違いがない。



役場駐車場で



マキ材の袋を積み



気温は1.0℃

午前9時に村役場駐車に集合。今回は奈良の山本さんの知人で香芝市の大前暢広君が初参加され、12名の皆さんにお集まりいただいた。R425の冬季通行止めは今年27日迄なので、全車一緒にゲートを通過し、下山口に3台を停め、残りの3台に分乗して登山口向かった。今月8日にたくさんあった雪も、4月並みの暖かさですっかり溶け、登山口に難なく到着、マキ材などをモノレールに積み込んで登り始める。終点にチェーンソーを残し、マキ材の袋を背負子に括り両手にマキ材の小袋を持って行仙宿に向かった。行仙宿に着いて玄関脇の温度計を見ると1.0℃だった。



本日の参加者



川島橋通過



林道に降りる

倉庫と管理棟を開け、先日動かせなかった発電機を始動する。エンジンは定期的に動かすことが必要で、長期間動かさないと始動しにくくなるので、行仙宿訪問の都度動かすようにしたい。平沢君から連絡のあったAEDのパッドを確認、2024年5月までとなっていた。前回交換したのが2021年だったので、いつの間にか4年

強が経過していた。水が残っていたため割れたお堂の花筒を交換して、午前11時過ぎから早めの昼食を摂る。車回送のため沖崎、濱野、大江徳子、湯川の4名を残し残りの8名で浦向道へ向かう。モノレール終点でチェーンソーを背負子括り、川島橋を通過する。橋にも異常は無い。林道に降り立つまでに倒れ掛かった細い木を一本切除したが、落ちている枝が多い以外、登山道には異常は無かった。林道で暫く休憩し浦向を目指す。林道から下は植林帯になり、落ちている杉の枯れ枝が増える。ここでも細い斜木を一本切り、壊れた小屋のある沢に着いた。

橋を渡って国道に到着した。毎年咲いているバイカオウレンは寒さが続いたせいか一輪だけ咲いていた。
(記：梶野)

行動タイム

村役場駐車場 09:00 → 09:33 補給路登山口 → 10:18 行仙宿 11:20
↓ 12:28 林道 → 13:25 壊れた小屋 → 14:45 R 4 2 5



腐った標識



沢で休憩



国道に到着

10年以上前に付けられた標識が完全に腐っていて、更新の必要がありそうだ。休憩の後歩き出すが、ここから国道まで尾根のトラバースが続くので結構な距離がある。途中で沖崎さんから「下山口に着いた」と連絡があり、あと20分位と返事をしたが、実際には38分かかっていた。気温が上がって汗をかきながら最後の十津川